

観光社会資本の事例

テーマ	四季を通した「自然とのふれあい」 ～見る・遊ぶ・泊まる・体験する～	
【施設の状況写真】		
		
<p>春、夏、秋と花がリレーする「カントリーガーデン」は“花と緑のある北の暮らし”をテーマに、北海道を代表する牧歌的でおおらかな田園風景が広がり、北国の花めぐりを堪能できます。</p>	<p>国内有数の雪遊びのメッカ「滝野スノーワールド」。ファミリーゲレンデ、そりゲレンデ、スノーシュー、歩くスキーなど、大人も童心に帰る雪国の遊びが満喫できます。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>フラワーガイドボランティアによる見どころ案内で、カントリーガーデン内の草花を楽しむ観光客。</p>	<p>長さ200mの“そりゲレンデ”は「ゴムスレー」と「ロープトウ」で楽しさ満喫。スリル感のある滑走が好評です。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>国営滝野すずらん丘陵公園は、四季を通して自然とふれあうことのできる観光レクリエーション空間として、北海道民はもとより多くの国内外の旅行者にご利用いただいています。</p> <p>春から秋まで800種類を越える草花が咲き競う「カントリーガーデン」は、フラワーガイドボランティアによる見どころ案内が花の魅力をさらに引き立てます。また、(社)日本オートキャンプ協会より五つ星施設の認定を受けている「オートリゾート滝野」、日本の滝100選の1つである「アシリベツの滝」、子ども達に大人気の「こどもの谷」など、道内外から多くの観光客を迎えています。</p> <p>また、白をイメージカラーとした冬季シーズンは、「滝野スノーワールド」として“雪遊び”のパラダイスと生まれ変わります。豊富な“雪遊び”メニューはアジアを中心とした海外観光客をも魅了しています。</p>		

テーマ	四季を通した「自然とのふれあい」～見る・遊ぶ・泊まる・体験する～
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国営滝野すずらん丘陵公園</p> <p>所在地 北海道札幌市南区滝野247番地</p> <p>事業名 国営公園整備事業</p> <p>事業主体 国土交通省</p> <p>事業期間 昭和53年～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>国民の余暇レクリエーション活動空間の提供</p> <p>国民の多様化する余暇活動、レクリエーション需要に対応した四季を通して自然とふれあえる余暇レクリエーション活動空間を提供します。～見る・遊ぶ・泊まる・体験する～</p> <p>北海道オートリゾートネットワーク構想の拠点</p> <p>「オートリゾート滝野」は、日本でも屈指の設備を備えたオートキャンプ場です。道内観光の宿泊拠点として、また、アウトドアライフを満喫する目的地として利用されています。</p> <p>花観光の拠点</p> <p>「カントリーガーデン」は、札幌近郊の花の名所と連携したスタンプラリーの主要施設で、民間企業によるバスツアーが行われるなど、先導的な役割を担っています。</p> <p>青少年の育成</p> <p>「青少年山の家」は、自然環境を活かした野外活動を通じて健全でたくましい青少年の育成を目的とした宿泊研修施設で、札幌市内の小学5年生の9割以上が毎年宿泊しています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 滝野公園ホームページ http://www.takinopark.com/</p>	

